

## つるりっぷが、ゆるキャラグランプリで612位になりました。応援&投票、ありがとうございました!!



鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぷ」がエントリーしていた「ゆるキャラグランプリ 2015」の結果発表がありました。

つるりっぷは参加総数1727体のうち、612位と昨年の成績(1699体のうち709位)を大きく上回る結果となりました。これまで

同様、鶴見区のイベント等に登場しますので、見かけたら声をかけてくださいね。

問合せ 魅力創造課(広報戦略) ☎6915-9683

## 鶴見区豆知識

### 教えて! つるりっぷ

鶴見区は多くの区や市と隣接しています!

鶴見区は大阪市の最東端に位置しており、城東区、旭区、守口市、門真市、東大阪市、大東市と接しています。大阪市24区の中で他の市と一番多く隣接している区です。

地下鉄門真駅(門真市)や、JR徳庵駅(東大阪市)は他の市にありますが、通勤や通学等で多くの区民の方が利用されています。

区の概要や魅カスポット、くらしに役立つ情報をまとめた生活ガイドブック「大阪市くらしの便利帳(平成27年10月発行保存版)」を希望される方は鶴見区役所魅力創造課(4階43番窓口)までお越しください。



## わがまちのできごと 『さつまいも掘りプロジェクト』

11月7日(土)、秋空の下、汗ばむほどの陽気に包まれ、まさに「いも掘り日和」となりました。5月に植えた苗から「どないもができたのか」と収穫を楽しみにしている様子です。

掘り出し開始。親子で協力しながら、根を傷つけないよう慎重に掘り出します。「おおーっ!!」と歓声。見るとカボチャのように肥えたさつまいもが、あちらこちらにゴロゴロと掘り出されています。同時に「キャー!!」という女の子の悲鳴!?も。どうやらトカゲと遭遇したようです。土の中から、バッタにココロギ、昆虫の幼虫などが出てくると、虫取りに集中する男の子の姿も見られました。

掘り出されたいもは、グループそれぞれが管理する畝の中央に集められ、グループリーダーの指示のもと平等に分けられました。

苗植えから、つる返し、水やり、除草などの作業を経て、いもができる。植物が成長する一連の流れに直接携わって、子どもたちにとって貴重な体験となりました。



増田 尚紀さん、幸子さん、咲幸ちゃん、幸大ちゃん  
いも掘りなんて幼稚園以来。土に触るだけで癒やされます。いつも仕事ばかりで、子どもの相手ができないので良い機会になりました。天ぷらやスイートポテトにするつもりです。



鈴木 康文さん、心乃香ちゃん  
子どもも喜んでいますが、私自身、子どもに返った気持ちになっています。たくさんのいもがとれました。広報紙で見たいろんな催しに参加して楽しんでいます。



山神 朝実さん、かなちゃん、直ちゃん  
うちの子は、焼きいもが大好きなので、本当にありがたい企画だと喜んでます。とれたての味は、焼きいもだけでなく、煮物や味噌汁などいろんな料理に使って味わいたいです。



木村 晴次さん、真紀子さん、綾花ちゃん  
こんな機会めったにないでしょう。親子で健康的に楽しめるのがいいですね。鶴見区は、大阪市内とは思えないほど、自然が豊か。とても住みやすいので気に入っています。

## 『つるみんピック&安全・安心フェスタ』

11月29日(日)、横堤小学校で鶴見区震災訓練「つるみんピック&安全・安心フェスタ」を開催しました。

つるみんピックでは、防災に必要な知識や技術を学んでいる地域防災リーダーが、日頃の訓練の成果を競いました。最初の競技は、ロープ結索リレー。「本結び・まき結び・もやい結び」を各ポイントで結索します。消防隊員が厳しくチェックし、OKの赤い旗が上がると会場全体が拍手で盛りあがります。次は担架作成・搬送リレー。「ポール2本と毛布だけでできるのか」「足側から進むのね」と見ているだけでも防災の知識が得られます。



最後は、可搬式ポンプ操法リレー。火災が発生したと想定して、ポンプで放水し、カラーコーンを倒します。「きをつけ! 番号1・2・3...」「放水始め」など号令がかかると、本番さながらの臨場感で競われました。

また、安全・安心



西山 房子さん  
AEDのパッドは、どこに装着するか曖昧でしたが、ブースで聞くと右胸の上と左の脇の下で心臓を挟むようにするとか。分かってよかったわ!



樫 直子さん、悠花さん  
地震体験車で震度7を体験。娘は「ものすごい揺れだった」といっています。東日本大震災以降、家では水の準備などを行っています。



高谷 真理子さん、平野 美代子さん  
ロープ結索リレーに出場しました。緊張で心臓バクバク(笑)。今日のために毎晩練習してきました。もやい結びが難しかった。ささやかながら地域に貢献できればいいなあ。



竹本 正則さん  
有意義な取り組みです。地域で競争することで活性化します。とくにポンプ操法リレーは役に立つでしょう。地域では防災マップづくりや、ジュニア防災リーダーの育成などを行っています。みんなで地域を守っていきましょう。

フェスタでは、地震の揺れが体験できる「起震車」や交通ルールと正しい交通マナーを実践的に学べる「自転車シミュレーター」など防災、防犯、交通安全に役立つさまざまな体験・学習コーナーなどの出展もありました。最後は「本当の(災害)時に、本当のことができるように」と鶴見消防署長からのあいさつで締められました。